

なっている。少しずつ根付いていけば」と手応えを語る。

7月末からは、在宅医療を手掛ける市内の「ホームケアクリニックえん」が毎週木曜、カフェ内に「つむぎつなぐ保健室」を開設。

スタッフが地域住民の暮らしや健康、医療、介護の相談に無料で応じている。住民同士を広くつなぐ場として活用され、藤村管理者は「今後も地域に開かれ、住民が来やすい場所にしていきたい」と話している。



スマホを使った写真撮影のこつを学ぶ
大迫高の生徒

構図や加工で 目を引く写真

大迫高、
プロが講演

花巻

盛岡市在住のフォトグラファー足利文香さんの講演会は24日、花巻市大迫町の

大迫高校（三田正巳校長、生徒56人）で開かれた。生徒たちが目を引く写真の撮り方、文章について学び、情報発信能力を培った。

足利さんは宮城県出身。2021年から本県に移住し、フォトグラファーやライターとして本県の魅力を広めている。講演会は全校生徒が対象で、足利さんはスマートフォンで写真を撮

影する際のポイント、読みやすい文章について解説した。

写真撮影に関しては「何を写したいかを明確にする」とし、構図の重要性を力説。撮影時にはグリッド線を活用して、被写体と背景のバランスを整える技術やお薦めの画像加工アプリを伝えた。生徒たちは互いに写真を撮るなどしながら、技術を習得していた。

同校ではメディアプラットフォーム「note」を使用した生徒主導の情報発信を目指している。小原志歩さん（3年）は「被写体と周囲とのバランスの取り方などが勉強になった。きれいな写真を撮影したい」と話していた。